～丹波のまちを良くするしくみ～

赤い羽根共同募金







赤い羽根共同募金は今回で80回目
皆さまのおかげでこれまでたくさんの
活動を支援することができました
これからも皆さまのご協力を
お願いします







発行：社会福祉法人　兵庫県共同募金会　丹波市共同募金委員会
〒669-3309　兵庫県丹波市柏原町柏原2715（丹波市社会福祉協議会内）
TEL　0795-86-7171　　FAX　0795-86-7211

赤い羽根共同募金とは

1947（昭和22）年から始まった赤い羽根共同募金は、今年度で80回目を迎えます。

当初「国民たすけあい運動」として始まり、集められた募金は戦後復興の一助として被災された福祉施設の復旧などに活用されました。その後、1951（昭和26）年に社会福祉事業法（現在の社会福祉法）が制定され、今日のような地域課題の解決に向けて活用されるようになりました。

地域福祉を取り巻く環境は、日に日に変化しており、その内容も複雑化・多様化（社会的孤立、8050問題（※）、経済的困窮など）しています。

そんな変化の激しい社会の中でも、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、地域の課題解決に向けた事業を資金面で支援しているのが、この赤い羽根共同募金です。

これまで多くの市民の皆さまにご協力いただいたおかげで、事業が継続して進められています。丹波市で集められた募金は、丹波市の福祉の課題を解決するために役立てられます。

赤い羽根共同募金の役割をご理解いただき、ご協力をお願いします。

※ 8050 問題：80 代の親が長期引きこもり状態の 50 代の子どもを養っている状況のこと。

募金の流れ

皆さまからお預かりした募金

兵庫県共同募金会を通じて、配分されます

市内の地域の福祉活動へ

- 市内の小中学校等が取り組む福祉学習への助成
- 市内の認定こども園の保育活動に必要な備品等の購入助成
- ふれあい・いきいきサロンの活動助成
- ボランティア活動にかかる活動助成
- 自治協議会や自治振興会が行う福祉に関する事業の活動助成



※昨年度の詳しい使い道は
次ページでご紹介しています

県内のさまざまな活動へ

- 県内の社会福祉施設の整備
- ボランティア団体などへ活動助成

災害に備えて

- 地震や豪雨などの大規模災害に備える

ありがとうメッセージのご紹介



「水遊び、楽しいね！」

今回、共同募金配分金で子どもたちが楽しめる水遊びやままごとの玩具を購入できました。ありがとうございました。

水遊びが始まる前に、購入した玩具を見せると色を言う子、両手いっぱいに集めて遊んでいる子など皆、嬉しそうな表情で遊んでいました。また、ままごと遊びでは友だちとのやりとりが増え、お店屋さんやお家の人になりきって料理をする姿が見られました。

これからも大切に使わせていただきます。

【認定こども園いくさと】

赤い羽根共同募金の使いみち

丹波市で集められた募金の約９割が丹波市の地域福祉活動へ活用され、残りの１割は県内の福祉施設等へ役立てられます。地域の身近な活動に活用されるのが、この募金の特徴です。
令和７年度の実績は、以下のとおりです。



令和７年度
丹波市社会福祉協議会への配分額　11,253,000円



ふれあい・いきいきサロンへの活動助成

丹波市では、地域住民が気軽に集まる居場所として、また閉じこもりの予防等を目的にふれあい・いきいきサロンが各地で開催されています。サロンでは、茶話会やレクリエーション、季節の行事など皆が楽しく過ごせるように工夫されています。参加者同士がお互いを気にかけあったり、会話や外出の機会になっています。

【令和７年度の配分実績】　4,000,000円

各種団体（自治振興会・自治協議会、福祉団体、認定こども園等）への助成

丹波市の自治協議会や自治振興会が行う地域福祉活動、福祉団体が行う福祉事業、認定こども園の保育活動に助成を行っています。自治協議会などが行う地域福祉活動では、住民同士の交流の場づくりなどに取り組まれており、お互いの顔が見えるつながりが生まれています。

【令和７年度の配分実績】　4,690,796円





そのほかの活用先

【令和７年度の配分実績】

- **学校の福祉学習への助成　477,074円**
- **ボランティア活動への助成　1,065,730円**
- **福祉に関する情報の発信　323,400円**
- **相談事業への助成　696,000円**

【北海道共同募金会による報道に関して】

このたびの北海道共同募金会の不祥事により、共同募金にご協力いただいている関係者の皆さま、市民の皆さまにご不安とご心配をおかけすることになり、誠に残念でなりません。本会が所属する社会福祉法人兵庫県共同募金会は、社会福祉法に基づく社会福祉法人として、定款・規程等の他、社会福祉法人会計基準に基づく適正な会計実務など厳格な内部牽制体制により適正な法人運営・会計業務を行っており、また本会においても同様に事業運営を行っておりますことを申し添えます。

令和８年度
目標額 12,647,000円



赤い羽根共同募金は、事前に使い道を決めてから行う「計画募金」です。お預かりした募金が地域で行われている福祉事業に活用されます。今年度ご協力いただいた募金は、来年度の以下の事業に大切に使わせていただきます。

活用目的	配分金の活用額
市内の小中学校、高等学校、特別支援学校が取り組む学習の助成	500,000 円
地域で活動しているふれあい・いきいきサロン活動への助成	4,000,000 円
自治協等が取り組む福祉活動への助成	3,400,000 円
県内の福祉施設・各種団体等への助成 丹波市共同募金委員会の事務費	1,601,000 円
市内の認定こども園の保育資材の購入費助成、福祉団体への助成	1,000,000 円
ボランティア活動事業に （助成や養成講座、ボランティアまつりなど）	1,100,000 円
福祉に関する情報発信や相談事業	1,046,000 円

募金方法のご紹介

共同募金運動には、直接募金するだけでなく、インターネットを利用する方法があります。

また、飲料を購入した時の売上の一部が共同募金に寄付される「募金付き自動販売機」の設置、募金付き商品を一緒に企画し、売上の一部を寄付いただく「募金百貨店プロジェクト」など協力いただく方に応じた募金方法があります。詳細については、右の二次元コードを読み込んでください。

インターネットを利用した
寄付はこちらから

募金付き自動販売機の
設置はこちらから

募金百貨店プロジェクトの
実施はこちらから